

2016年4月9日

プロジェクト報告書

団体名 ハエ子チャイルドライン

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現が「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ハエ子チャイルドライン 受けてボランティア養成講座

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

子どもの心に寄り添う活動を続けたいための受け手を養成する
たとえ活動に直接関わりをもてなくとも、子どもを見守る大人として
子どもの声を聴く姿勢を大切にすることを知らせてもらう。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- 9月～10月 市報、ミニコミ紙、H.P.チラシなどで広報し、募集。
- 11月～3月 研修 全11回実施
- 終了後 受け手として活動のために 準備期間としてヒアリングなどを行う。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

広報について 地域の主だった施設、大学へのチラシ配布とH.P.上で呼びかける。6名でのスタートだったが問い合わせは9名あった。
研修内容は必要単元を考えたが現状は改善できなかった。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

結果として受け手となるスタッフ1名と受講者が引き続き活動に参加して下さることとなり、それは評価して良いと思う。
受講者を増やすための工夫が必要と痛感した。
内容を念めより鬼気力のある活動となるよう努力したい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



特定非営利活動法人八王子チャイルドライン

2015 受け手ボランティア養成講座

「心を傾けて聴く」ことを学びませんか

チャイルドラインは、電話を通して子どもたちの声を受け止める活動です。子どもたちは自分の大切な話をしてくれます。悩みをことばにし、それを私たちが受け止めることで、子どもたちは力をとりもどしていきます。私たちは子どもたちの心が少しでも軽くなることを願って、地道な活動を続けてきています。受け手となって一緒にこの活動を担って下さる方を募集します。下記の養成研修にご参加ください。(受け手は18才~55才)

また、受け手を希望しなくても、「聴く」ということを学びたい方、プログラムに興味をもたれた方も研修に参加いただけます。

●日程 11月7日(土)から2016年3月19日(土)まで全11回

(受け手希望の方は全回出席を前提とします)

★詳しいプログラムは裏面を参照

●場所 由井第一小学校(予定)(京王北野駅北口徒歩約3分)

●受講料 全回通して7000円 学生6000円

(初日、受付に一括お支払いください)

一部講座受講可 1回700円

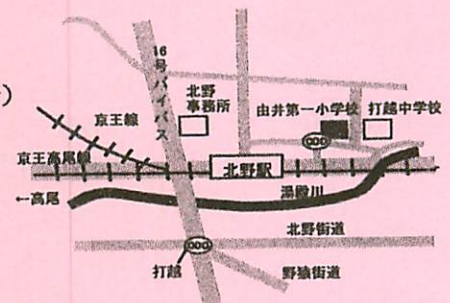
(ロールプレイ希望の方は7、8、9回連続受講)

●申込み Eメール hachiouji@coccoro.net

FAX/ TEL 042-627-1398 (裏面の申込書をFAXしてください)

(問い合わせもこちらまで)

●締め切り 10月末日



チャイルドラインとは?

チャイルドラインでは、一生懸命子どものことばに耳を傾けます。子どもの気持ちに寄りそいながら、子どもの思いを尊重しながら、子どもの力を信じて……

たとえば、「友だちができなくて……」のことばに、すぐに「そういう時にはね、〇〇するといいわ」「××してみたら」とは言いません。こちらが問題解決してしまおうとは思わないのです。この一言の中にその子自身も気づいていないさまざまな思いがこめられています。その子にいていねいに寄りそい、問いかけ、一緒に考える中で、本当の自分の気持ちにこの子自身が気づいた時、自分の一番ほしかった答えを見つけていきます。そんな時、私たちは「子どもってすごいな!!」と子どもの持っている力に驚かされます。そして子ども自身も、自分に気づき、自分で選択し、それができた自分に自信を持てるのです。

「自分を肯定できること」「こんな自分もけっこう悪くないと思えること」「自分にもできると思えること」これはとても大きな力です。————チャイルドラインではこのことをとても大切に考えています。

2015 年度受け手養成研修プログラム



*時間は全回 10 時から 12 時 30 分までです

	研修日		研修内容	講師・主催(敬称略)
1	11/7	土	チャイルドラインとは・	スタッフ
2	11/14	土	困難な状況の中で生きる子どもたち (虐待の現状を知る)	子ども家庭支援センター相談員
3	11/28	土	グループワーク (あなたの当たり前はみんなの当たり前?)	スタッフ
4	12/12	土	遊びを通して育つ子どもの力 (子どもは自分の力を試して自分を知る)	天野 秀昭(日本最初のプレーリーダー) (大正大学人間学部特命教授)
5	12/19	土	子どもの人権とそれを取り巻く問題 (弁護士の関わりを通して)	内藤 裕子 (武蔵野法律事務所 弁護士)
6	1 / 9	土	「性」について学ぼう (命を受け継ぎ命を育む)	小井戸 浩子 (ひとみ助産院助産師・思春期相談士)
7	1 / 23	土	電話相談の特性と限界 (子どものことばから何を聴くか)	山本 多賀子 (せたがや CL 支え手) (東京都知的障害者育成会青年期相談室長)
8	2 / 6	土	電話のロールプレイⅠ	スタッフ
9	2 / 20	土	電話のロールプレイⅡ	スタッフ
10	3 / 5	土	自己開示・気づきのワーク (人生の棚おろし)	スタッフ
11	3 / 19	土	電話のロールプレイⅢ	スタッフ

チャイルドラインは全国 70 以上の団体が連携して、毎日 16 時から 21 時まで、フリーダイヤル (0120-99-7777) で 18 歳までの子どもからの電話を受けています。2014 年度は年間約 20 万 6 千本の電話を受けました。電話を受けているのは研修を受けたボランティアです。

八王子チャイルドライン「ココロ」は 2002 年から活動を始め、現在は全国のチャイルドラインの団体の一つとして毎週水曜日 18 時から 21 時、土曜日の 15 時から 18 時の時間帯に電話を受けています。

042-627-1398 へ下の申込書に記入して FAX してください

チャイルドライン受け手養成研修 参加申込書			
(フリガナ) お名前	年齢	職業	
住所〒	電話(携帯)	FAX	
ボランティアの経験	あり () なし		
子どもとかかわる経験	あり () なし		
応募動機(必ずお書き下さい)			

主催：特定非営利活動法人 八王子チャイルドライン

チャイルドラインは特定の政治団体や宗教団体とは関わりはありません

